

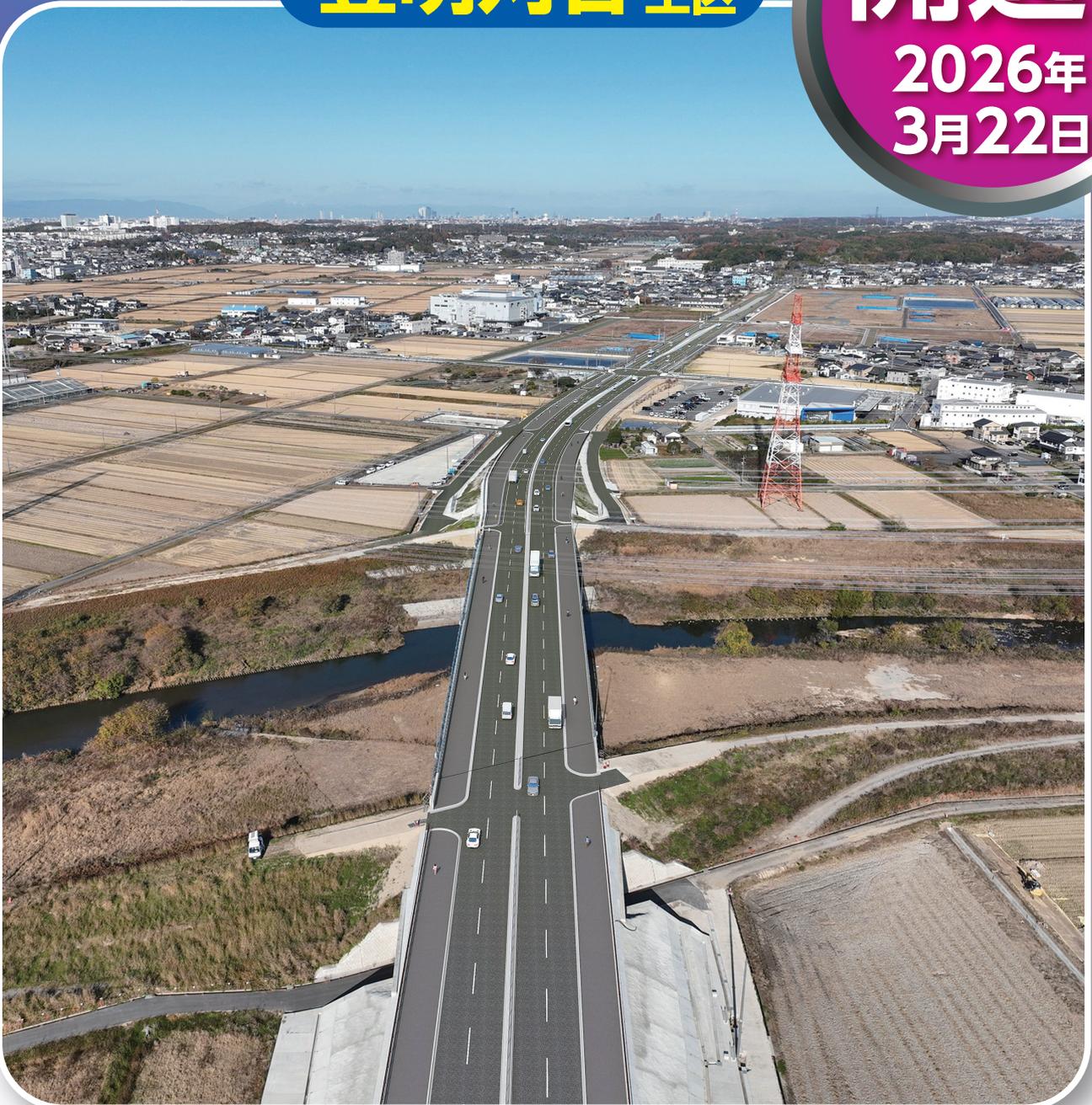
主要地方道

名古屋岡崎線 バイパス

豊明刈谷工区

開通!

2026年
3月22日



(完成イメージ)



尾張建設事務所
知立建設事務所



事業概要

主要地方道名古屋岡崎線バイパスは、名古屋市緑区から豊明市、刈谷市、豊田市、安城市を通り、岡崎市につながる主要な幹線道路です。名古屋第二環状自動車道や伊勢湾岸自動車道などの高速道路と接続して、自動車関連産業を始めとする本県の産業集積地間を結ぶ重要な役割を有する路線です。

また、本路線は第二次緊急輸送道路として位置付けられており、災害時には物資輸送を担うなど防災上の観点からも重要な路線です。

当該事業区間は、豊明市から境川を跨ぎ刈谷市に至る約1.2kmの区間であり、事業区間の周辺では、現道や主要地方道豊田知立線などにおいて、慢性的に渋滞が発生しています。

このため、交通の円滑化を図るとともに、2022年3月に供用された刈谷スマートインターチェンジへのアクセス性の向上や災害時の緊急輸送道路の確保を図ることを目的として整備しました。

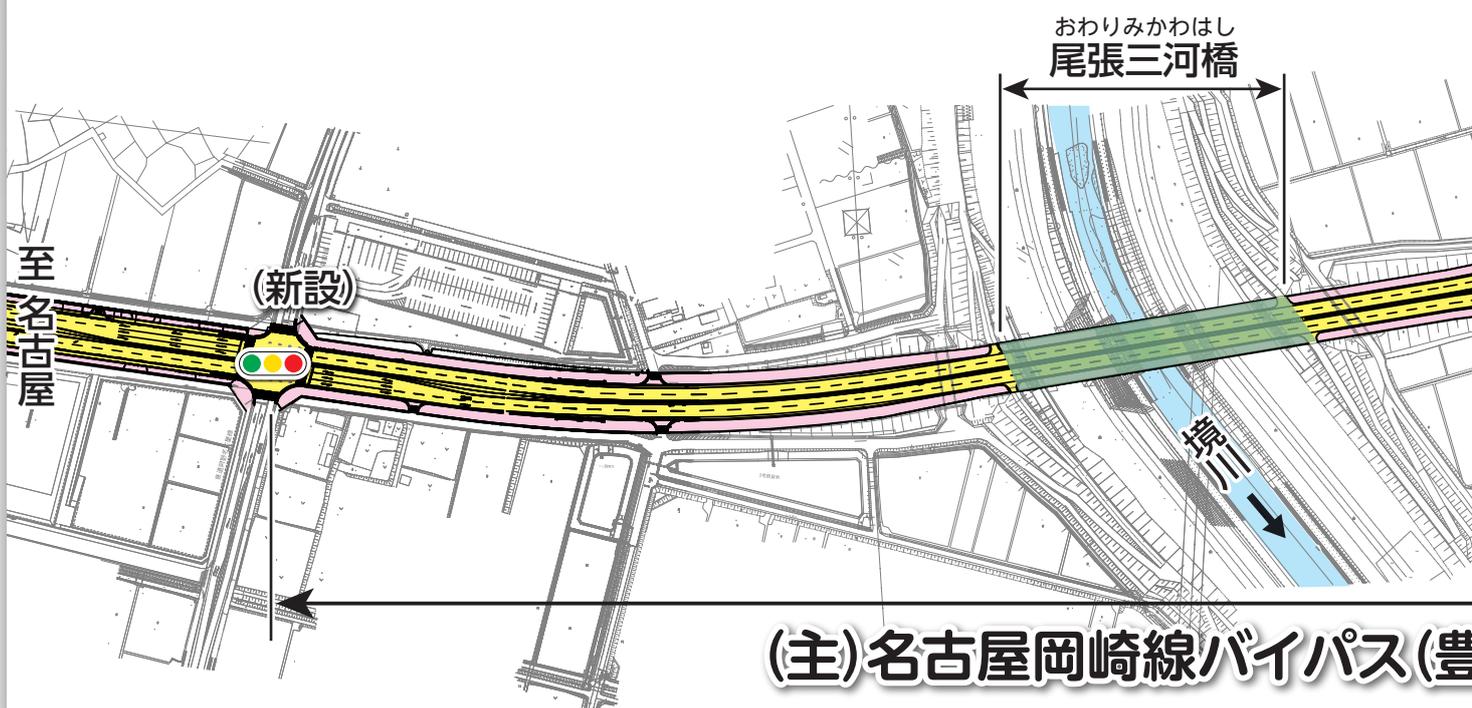


現道(東郷町春木)の渋滞状況(2025.11.26)



刈谷スマートインターチェンジ

平面図

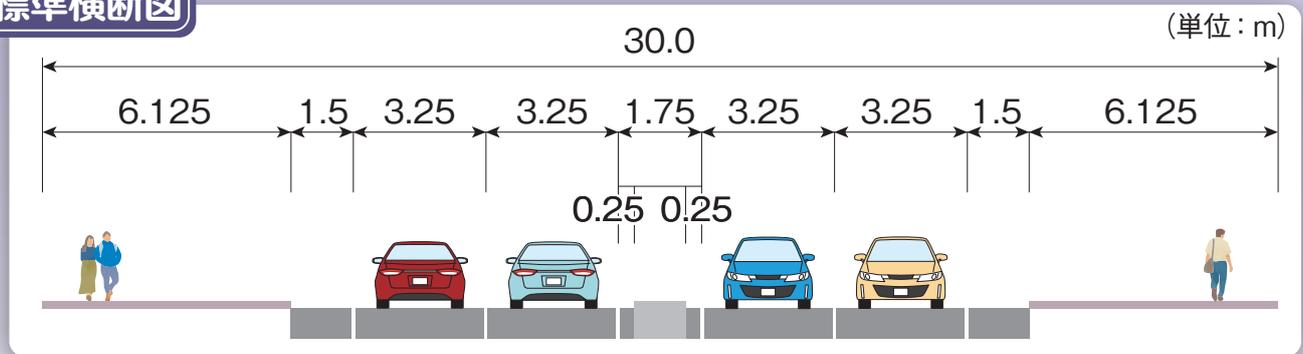


(主)名古屋岡崎線バイパス(豊)

道路諸元

事業箇所	豊明市沓掛町～刈谷市井ヶ谷町	幅員	30m
全体事業費	72億円	車線数	4車線
事業期間	2017～2025年度	道路規格	3種2級
事業延長	約1.2km	設計速度	60km/h

標準横断図



整備効果

① 地域の活性化

バイパス整備により移動時間が短縮され現道などの渋滞緩和、人やモノの流れの円滑化に寄与

② 陸・海・空一体の国際競争力の強化

伊勢湾岸自動車道へのアクセス道路となるため、物流効率化に寄与

③ 地震・津波対策

緊急時の避難・救助機能や災害時の円滑な通行機能を向上



橋梁諸元

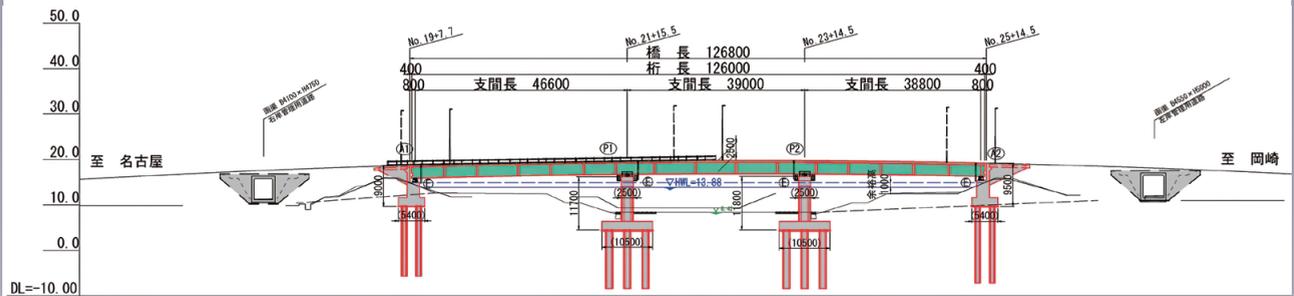
橋長延長

126.8m

橋梁形式

上部工 鋼3径間連続少数鈹桁橋
下部工 逆T桁橋台+場所打ち杭

橋梁一般図



工事ステップ



下部工基礎施工状況



下部工施工状況



上部工(桁仮設)施工状況



上部工(床版打設)施工状況

尾張三河橋

おわりみかわはし
尾張三河橋という名称は、尾張地域と三河地域を結ぶ橋として、名古屋岡崎線建設推進協議会から提案されたものです。古代の「尾張国」「三河国」に由来し、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の出身地として歴史的にも親しまれてきた名称であり、本橋が両地域の架け橋となり、交流と連携をさらに促進し、ともに発展していくことへの願いが込められています。

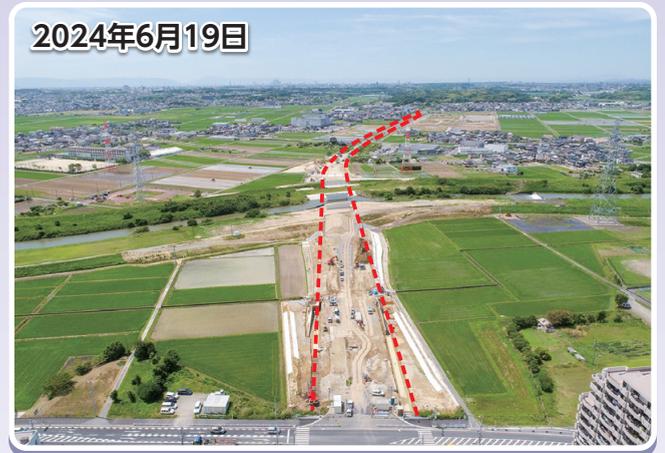
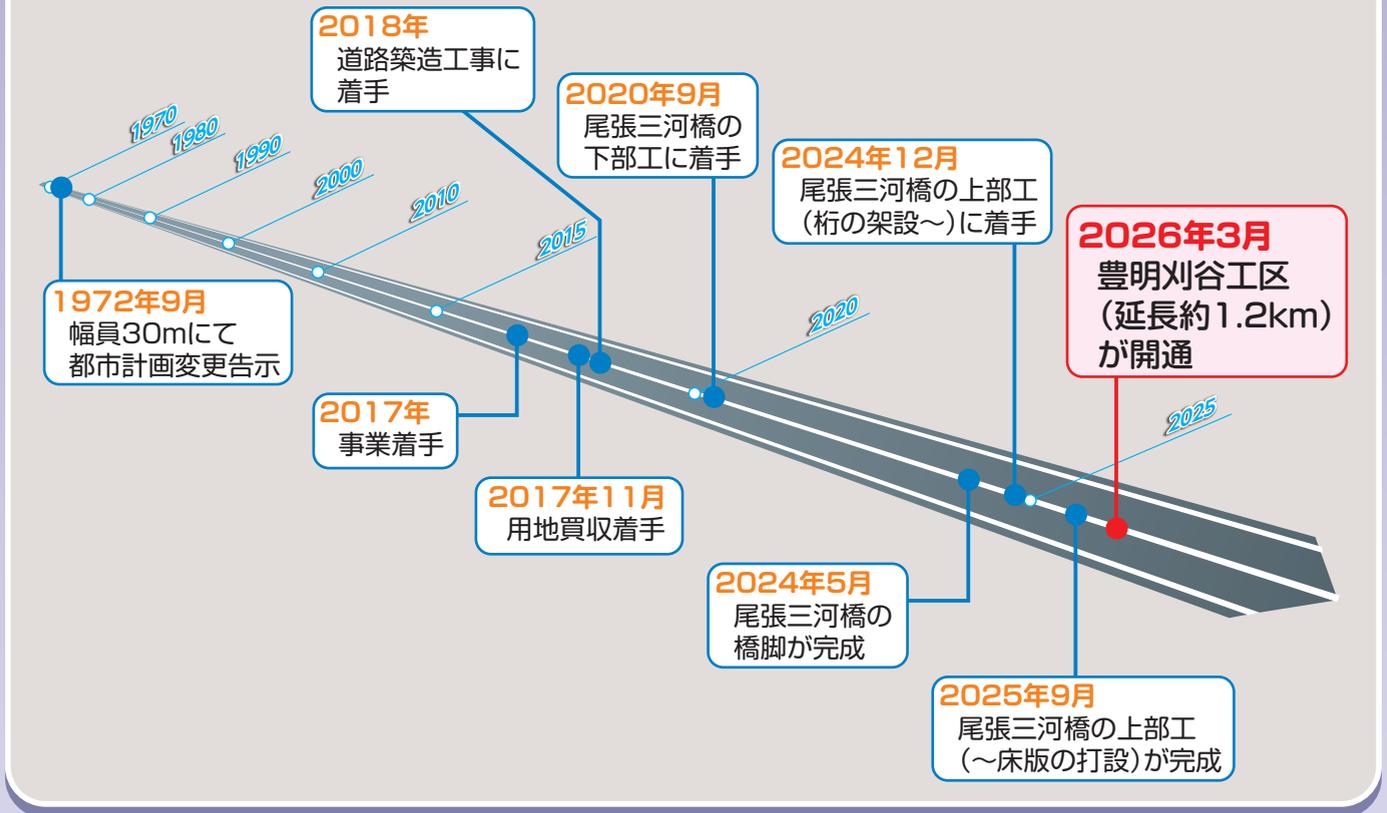


大村知事 揮毫の橋名板



開通までのあゆみ

豊明刈谷工区の整備の経緯



位置図



↑ 開通区間延長
約1.2km ↓

- 凡例
- (赤) : 開通区間
 - (主) 名古屋岡崎線バイパス (※一部(都)名古屋岡崎線を含む)
 - (主) 名古屋岡崎線バイパス事業中
 - (主) 名古屋岡崎線(現道)
 - (緑) : 高速道路
 - (粉) : 国道
 - (青) : 県道
 - (点線) : 市町村界



●本事業に関するお問い合わせ先

愛知県尾張建設事務所 道路整備課
事業第三グループ 電話：052-961-4439

愛知県知立建設事務所 道路整備課
事業第一グループ 電話：0566-82-6452

